

設計・開発段階における FMEA・FTAの活用法 講座

日時	令和5年 11月29日(水)~30日(木) 9:30~16:30		
会場	産業人材育成センター倉吉校 (倉吉市福庭2丁目1番地)		
講師	QCコンサルタント 加瀬 三千雄 (かせ みちお) 氏 [講師プロフィール] 1970年 日本電気(株)入社 大型汎用電子計算機の回路設計、電子部品の品質保証 (品質管理信頼性技術) 電子交換機の品質管理 (購買品、PCB製造、ラック製造、システム) 1985年 東北日本電気(株)出向 電子交換機の製造品質保証、全社品質保証活動、デミング賞事務局 1989年 日本電気通信システム(株)出向 ソフトウェア設備品質保証 1995年 日本電気ファクトリエンジニアリング(株)出向 ISOコンサルティング、品質管理教育、ISO9001・ISO27001・TL9000の審査員 2008年~品質管理・統計学の講師、QCコンサルタント [講師としての主な略歴] 日経流通 品質管理部(1978~)、日本規格協会 品質管理部(1988~)、日経流通 TRC委員WG4注査(1985~1990)		
目的	設計・開発段階でトラブル発生防止策を講じ、製品やシステムの信頼性と安全性を確保することは必要不可欠です。その技法の一つであるFMEA・FTAの基本と活用について学びます。		
養成する能力	新たな品質の創造又は製品を生み出すことができる能力		
締切り	令和5年 10月30日(月)15時まで	定員	15名 (先着順)
受講料	6,000円/人		
持ち物	筆記用具		
申込み手続き	申込みは[とっとり電子申請サービス] (以下のURL) からお願いします。 https://apply.e-tumo.jp/pref-tottori-u/offer/offerList_detail?tempSeq=9395 入力を終了し送信すると受付メールが自動配信されますが、この時点では確定していません。申込を確認し、受付を完了しましたら、申込確定のメールが配信されます。 (定員オーバー等でお受けできない場合もメール連絡されます。) ※後日、ポリテクセンターが発行する請求書等を送付しますので期限までに入金してください。		

講座概要

製品やシステムの信頼性・安全性を向上させるため、設計段階で故障原因を除去(未然防止)する技法の一つ、FMEA・FTAについて基本的な考え方及び活用方法を講義と実習で学びます。また、設計・開発段階での適用事例も紹介します。

1 FMEAの概要

- ・故障解析の重要性
- ・構成部品の故障モードからシステム故障への展開
- ・信頼性ブロック図の重要性
- ・開発・設計段階における信頼性向上の考え方
- ・設計FMEAと工程FMEA

2 FTAの概要

- ・システムの故障原因を探る展開技法
- ・原因展開における論理記号の活用
- ・故障確率に基づく改善点の絞り込み
- ・ブール代数

3 事例による演習実施

- ・FMEAのグループ演習
- ・FTAのグループ演習

4 まとめ、アンケート

<産業人材育成センター倉吉校会場案内>

会場：3階 視聴室

